

チーム名	松原ゼミ 社工×国際	大学名・学部	筑波大学・社会工学類、国際総合学類	福島復興ステージ
プラン名称	「Horse to Family」～馬主×農家民宿×観光客で「馬事文化」をつなぐ～			
リーダー名	田村駿介 渡邊智也	メンバー名	三重野馨 家城悠紀 小松幹裕 瀬古希 伊藤春奈 根岸美空 堀口英里子	
指導教職員名	松原康介			

## 観光まちづくり

「そのまちならではの」の魅力で  
地域の人と観光客がつながること

歴史・文化に関わる研究室  
⇒地域の古き良き暮らしと新しいもの  
との共存・継承を重視

## 問題意識

馬文化が根付く  
南相馬市が対象

85戸の家庭で約150頭の馬を飼育  
千年続く伝統行事「相馬野馬追」  
で知られるが…

- ①野馬追の担い手不足・馬主の負担
- ②野馬追シーズン以外の観光客不足

馬事文化の継承／通年観光・宿泊が課題

## 解決策

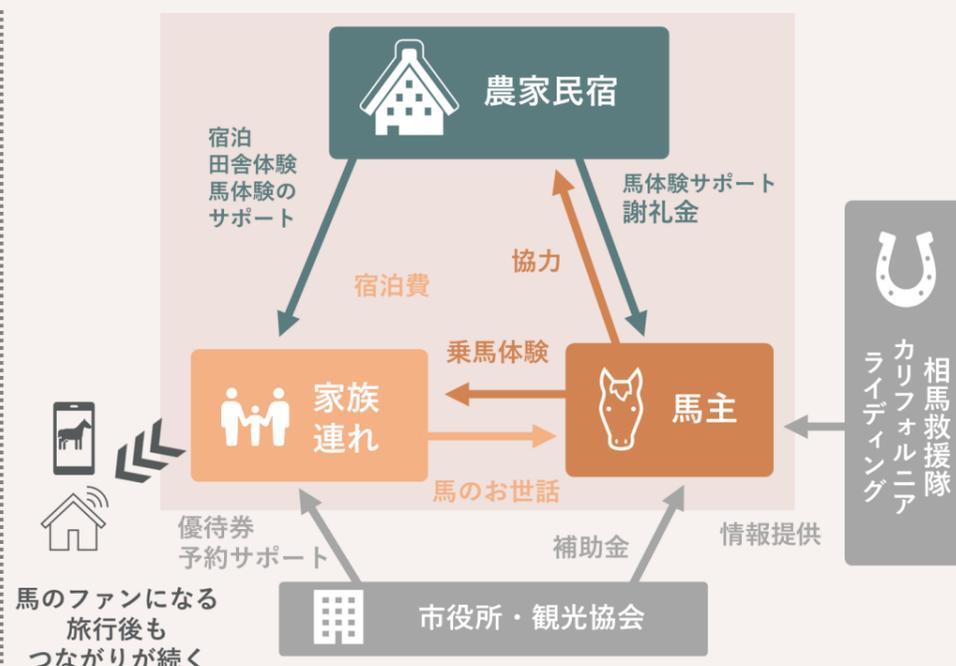
ホース・ト・ファミリー  
Horse to Family

都市部の家族連れをターゲットに、  
農家民宿・個人馬主による馬文化を体験

農家民宿での宿泊・田舎暮らし体験  
馬主の馬のお世話・乗馬体験・馬車移動

体験後もファンクラブ／押し馬応援制度／  
割引・リピーター特典でつながりが継続

## 「Horse to Family」



## プランの流れ



## 実現計画

STEP 1  
いちばん星

農家民宿「いちばん星」  
を中心に市内11つある  
農家民宿を活用

協力馬主・観光客  
の増加

STEP 2  
にばん星

「いちばん星」に  
続く農家民宿の増加

一部の馬主が民宿化  
リピーター増加

STEP 3  
さんばん星

持続的な農家民宿の運営  
多様な馬の「担い手」

家族・農家民宿・馬主  
の3絆(さんばん)  
が深まる

## 新規性

- ①町や観光客のみならず、「馬主」にもメリットのあるプラン
- ②既存の農家民宿や馬主とも連携した「通年観光」
- ③交通など、町の「不便さ」を逆手に取った着眼点
- ④地域の方との密着型観光で、継続的な「つながり」の実現

## 効果

### 馬文化

- ・野馬追の関係人口・ファンの増加
- ・馬主の負担の削減
- ・将来的な馬主の増加

### 観光客

- ・「第二のふるさと」の創出
- ・「デジタルデトックス」で日常を離れリフレッシュ
- ・子供に命の大切さを教育
- ・家族で過ごす貴重な時間

### 南相馬

- ・野馬追以外の期間の馬の活用
- ・「馬のまち」の促進
- ・将来的な移住の増加
- ・市内経済の活性化
- ・風評被害の軽減